

## 第二種衛生管理者試験

(平成15年1月～平成15年6月 実施分)

### 問1〔関係法令〕

衛生委員会に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 6月以内ごとに1回開催するようにしなければならない。
- (2) 委員の数は、常時使用する労働者数に応じて定められている数としなければならない。
- (3) 委員とすることができる産業医は、事業場に専属の者でなければならない。
- (4) 議長は、衛生管理者のうちから事業者が指名しなければならない。
- (5) 議事で重要なものについては、記録を作成し、3年間保存しなければならない。

問2 事業者が所轄労働基準監督署長に報告を義務づけられているものは、次のうちどれか。

ただし、当該事業者は衛生管理者の選任を要する事業場の事業者とする。

- (1) 安全衛生教育実施結果
- (2) 安全衛生推進者の選任
- (3) 産業医の選任
- (4) 作業環境測定結果
- (5) 衛生委員会の開催状況

問3 事務所衛生基準規則に関する下文中の( )内A, Bに入れる数字の組合せとして、正しいものは(1)～(5)のうちどれか。

「空気調和設備で中央管理方式のものを設けている場合には、室に供給される空气中に占める一酸化炭素の含有率は、原則として100万分の(A)以下とし、また、二酸化炭素(炭酸ガス)の含有率は100万分の(B)以下としなければならない。」

	A	B
(1)	10	1000
(2)	10	5000
(3)	50	1000
(4)	50	5000
(5)	100	5000

問4 衛生管理者の選任に関する次の記述のうち、法令に違反しているものはどれか。

- (1) 常時60人の労働者を使用する商店において、第二種衛生管理者免許を有する者のうちから衛生管理者を1人選任した。
- (2) 常時300人の労働者を使用する事業場において、衛生管理者を2人選任した。
- (3) 常時1300人の労働者を使用する事業場において、衛生管理者4人のうち1人のみを専任とした。
- (4) 常時600人の労働者を使用する事業場において、衛生管理者3人のうち2人を、事業場に専属でない労働衛生コンサルタントから選任した。
- (5) 常時30人の労働者を使用する事務所において、衛生推進者を1人選任したが、衛生管理者は選任しなかった。

問5 労働安全衛生規則に基づく次の定期健康診断項目のうち、「厚生労働大臣が定める基準に基づき医師が必要でないと認めるときは省略することができるもの」に該当しない項目はどれか。

- (1) 貧血検査
- (2) 血圧の測定
- (3) 心電図検査
- (4) 肝機能検査
- (5) 血中脂質検査

問6 事務所衛生基準規則に基づく事務室の衛生基準に関する次の記述のうち、誤

っているものはどれか。

- (1) 石油ストーブ、ガスこんろ等を使用する室には、排気筒、換気扇等を設  
けなければならない。
- (2) 室において使用する機械による換気設備は、6月以内ごとに1回、定期  
に、点検しなければならない。
- (3) 事務用機器で騒音を発するものを5台以上集中して同時に使用する場  
合  
は、専用の作業室を設けなければならない。
- (4) 室の気温が10℃以下の場合、暖房等適当な温度調節の措置を講じ  
な  
ければならない。
- (5) 室の照明設備について、6月以内ごとに1回、定期的に、点検しなけれ  
ば  
ならない。

問7 男女の労働者数が次のような事業場のうち、労働者が臥床することの  
できる  
休養室等を男性用と女性用に区別して設けなければならないものはどれか。

	男性労働者数	女性労働者数
(1)	5人	30人
(2)	10人	25人
(3)	15人	20人
(4)	20人	15人
(5)	25人	10人

問8 雇入れ時の安全衛生教育に関する次の記述のうち、誤っているものはど  
れか。

- (1) 労働者を雇い入れたときは、従事させる業務に関する安全衛生教育を行  
わなければならない。
- (2) 必要とする教育事項について、十分な知識及び技能を有していると認め  
られる労働者については、当該事項についての教育を省略することができ  
る。
- (3) 常時使用する労働者が一定数以下であることを理由に、雇入れ時の教育

で行うべき事項を省略することはできない。

- (4) 3月以内の期間を定めて雇用する労働者については、危険又は有害な業務に従事する者を除き、教育を省略することができる。
- (5) 特定の業種に属する事業場では、作業手順に関することについての教育を省略することができる。

問9 休日に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 業務の都合により休日に出勤させても、代休を与えれば休日労働とはならない。
- (2) 休日労働に関する協定の届出をすれば、満16才以上の男性に休日労働をさせることができる。
- (3) 「国民の祝日」は、労働基準法上の休日である。
- (4) 管理、監督の地位にある者に対しても、休日に関する規定は適用される。
- (5) 4週間を通じて4日以上の日を定めて与えれば、週1回の休日を与えなくてもよい。

問10 就業規則に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 就業規則には、退職に関する事項を定めておかなければならない。
- (2) パートタイマー2人を含めて常時10人の労働者を使用する使用者は、就業規則の作成及び届出の義務がない。
- (3) 就業規則で減給の制裁を定める場合においては、減給の1回の額は、平均賃金の1日分の半額を超えてはならない。
- (4) 就業規則で定める基準に達しない労働条件を定める労働契約は、その部分については無効である。
- (5) 就業規則の作成又は変更の場合、労働者の過半数を代表する者の意見を聴かなければならないが、同意は必要な要件とされていない。

問11 〔労働衛生〕

疾病休業統計に関する下文中の( )内AからCに該当する次の①～⑤の

語句又は数字の組合せとして、正しいものは(1)～(5)のうちどれか。

- ① 疾病休業延日数
- ② 在籍労働者の延実労働時間数
- ③ 1000
- ④ 疾病休業件数
- ⑤ 1000000

「疾病り患の頻度を表す病休度数率は、次の式により求められる。

$$\frac{(A)}{(B)} \times (C)$$

	A	B	C
(1)	①	②	③
(2)	①	②	⑤
(3)	④	①	③
(4)	④	②	③
(5)	④	②	⑤

問12 中央管理方式の空気調和設備を設けている事務室の空気環境に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 一酸化炭素の含有率は、検知管方式による検定器により測定することができる。  
できる。
- (2) 二酸化炭素(炭酸ガス)の含有率は、検知管方式による検定器により測定することができる。
- (3) 湿度は、普通、アスマン通風乾湿計で測定する。
- (4) 気温の測定は、ふく射熱(放射熱)の影響を受けないアウグスト乾湿計により行う。
- (5) 気流は、一般に熱線風速計で測定する。

問13 下文中の( )内に入れる数値として、正しいものは(1)～(5)のうちどれか。

「事務室において、在室人員が20人、外気の二酸化炭素(炭酸ガス、CO<sub>2</sub>)濃度が0.03%であるとき、この事務室の必要換気量は約( )m<sup>3</sup>/hで

あ  
る。

ただし、計算には下式を用い、式中の室内CO<sub>2</sub>基準濃度は0.1%、呼気中のCO<sub>2</sub>濃度は4%、1人当りの呼気量は毎分10リットルとする。

$$\text{必要換気量(m}^3/\text{h)} = \frac{\text{在室者の1時間当りの呼出CO}_2\text{量(m}^3/\text{h)}}{(\text{室内CO}_2\text{基準濃度})-(\text{外気のCO}_2\text{濃度})}$$

」

- (1) 343
- (2) 549
- (3) 686
- (4) 857
- (5) 1143

問14 採光、照明等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 光源からの光を壁等に反射させて照明する方法を全体照明という。
- (2) 作業室全体の明るさは、作業面局所の明るさの10%以下になるようにする。
- (3) 立体視を必要とする作業には、影のできない照明が適している。
- (4) 部屋の彩色にあたり、目の高さから上の壁、天井は、まぶしさを防ぐため、濁色にするとよい。
- (5) 前方から明かりをとるとき、目と光源を結ぶ線と視線とが作る角度が、30°以上あるとよい。

問15 次のAからDまでの温熱指数等のうち、乾球温度と湿球温度のみから求められるものの組合せは、(1)~(5)のうちどれか。

- A 実効温度
- B 湿度
- C 不快指数
- D 修正実効温度

- (1) A, B
- (2) A, C

- (3) B, C
- (4) B, D
- (5) C, D

問16 感染型食中毒の病原菌は、次のうちどれか。

- (1) ブドウ球菌
- (2) 腸炎ビブリオ
- (3) ボツリヌス菌
- (4) アフラトキシン
- (5) テトロドトキシン

問17 VDT作業の労働衛生管理に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 作業による健康障害は、初期にはほとんど自覚症状がないので、眼の検査及び筋骨格系の他覚的検査により異常を早期に発見することが必要である。
- (2) ディスプレイ画面、書類及びキーボード面において、照度が適切になるように配慮する。
- (3) 照明器具等の高輝度の光源がディスプレイ画面に映り込まないようにする。
- (4) VDT作業では、視覚以外に、姿勢、騒音、作業時間その他種々の疲労誘発要因があるので、これらに対する対策が必要である。
- (5) 一連続作業時間が1時間を超えないようにし、次の連続作業までの間に10～15分の作業休止時間を設けるようにする。

問18 労働者の健康保持増進のために、事業者が実施する具体的措置として、誤っているものは次のうちどれか。

- (1) 疾病の早期発見を主な目的とした健康測定を、労働者に対して行う。
- (2) 健康測定の結果に基づき、個々の労働者に対し適切な運動指導を行う。
- (3) 健康測定の結果に基づき、必要な場合は、労働者に対しメンタルヘルス

・ケアを実施する。

(4) 健康測定の結果に基づき、食生活上問題が認められた労働者に対して、

必要な栄養指導を行う。

(5) 健康測定の結果に基づき、勤務形態や生活習慣からくる健康上の問題を

解決する必要がある労働者には、そのための保健指導を行う。

問19 止血法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

(1) 直接圧迫法は、出血部を直接圧迫する方法であって、最も簡単であり、

効果的である。

(2) 間接圧迫法は、出血部より心臓に近い部位の動脈を圧迫する方法である。

(3) 上肢の出血を間接圧迫法により止血するときは、上腕の内側の中央部を、

骨に向かって強く圧迫する。

(4) 動脈からの出血の場合には、止血帯法により止血しなければならない。

(5) 止血帯としては、三角巾、手ぬぐい、ネクタイなどを利用する。

問20 窒息者の処置等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

(1) 窒息は、気道が閉塞した場合、酸素不足の空気を吸入した場合、有害ガ

スを吸入した場合に起こり、意識喪失、けいれん、大小便の失禁などが見

られる。

(2) 溺水者に対する人工呼吸は、口対口呼吸吹き込み法により行うとよい。

(3) 溺れは、肺に水が入っていなくても、空気の出入りが止まり窒息状態に

なると蘇生は困難である。

(4) 埋没者を救出するときは、位置を確認し、頭の方から先に掘り出してい

く。

(5) 埋没者に対する処置としては、まず、口、鼻、咽頭につまった土砂をぬ

ぐい出す。

## 問 2 1 〔労働生理〕

呼吸に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 肺自体には運動能力がないため、呼吸運動は、主として呼吸筋と横隔膜の協調運動によって行われる。
- (2) 胸腔の容積が増し、内圧が低くなるにつれ、鼻腔や気道を経て肺内へ流れ込む空気が吸気である。
- (3) 呼吸に関与する筋肉は、小脳にある呼吸中枢によって支配されている。
- (4) 呼吸中枢がその興奮性を維持するためには、常に一定量以上の二酸化炭素（炭酸ガス）が血液中に含まれていることが必要である。
- (5) 肺活量が多い人は、肺でのガス交換面積が広く、一般に激しい肉体労働をするのに有利である。

## 問 2 2 体温等に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 体内での産熱は、主に栄養素の酸化燃焼又は分解などの化学的反応によって行われる。
- (2) 発汗には、体熱を放散する役割を果たす温熱性発汗と、精神的緊張や感動による精神的発汗とがあり、労働時には一般にこの両方が現れる。
- (3) 発汗していない状態でも皮膚及び呼吸器から1日約850gの水が蒸発しており、これを不感蒸泄という。
- (4) 体温調節中枢は視床下部にある。
- (5) 寒冷にさらされ体温が正常以下になると、皮膚の血管が拡張して血流量を増し、皮膚温を上昇させる。

## 問 2 3 血液に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 骨髄中で産生された赤血球の寿命は約120日である。
- (2) 白血球のうちリンパ球は、免疫反応に関与している。
- (3) 血液の凝固は、血漿中のフィブリノーゲン（線維素原）が不溶性のフィブリン（線維素）に変化する現象である。

- (4) 血小板は、血液凝固作用に関与している。
- (5) 血液の容積に対する血小板の相対的容積をヘマトクリットといい、その値は、男女による差がない。

問 2 4 睡眠に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 睡眠は、疲労やストレスの解消に極めて有効な対策である。
- (2) 深夜勤務を含む交替制勤務者や航空機の乗務員などに対しては、特に睡眠確保に配慮する必要がある。
- (3) 睡眠中には、新陳代謝が盛んになる。
- (4) 睡眠中には、体温の低下がみられる。
- (5) 睡眠中には、特に副交感神経系機能が優位になる。

問 2 5 下文中の ( ) 内にあてはまる語句は、(1)~(5)のうちどれか。

「筋労作時には、( ) からのアドレナリンの分泌が増加する。」

- (1) 胃
- (2) 十二指腸
- (3) 脾臓
- (4) 副腎髄質
- (5) 副甲状腺

問 2 6 感覚器官等に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- (1) 皮膚の感覚点のうち、温覚点が最も密度が大きい。
- (2) 眼球の長軸が短過ぎるために、平行光線が網膜の後方で像を結ぶものを遠視眼という。
- (3) 聴覚は、振動数の少ない音を高く感ずる。
- (4) 中耳は、平衡感覚をつかさどる重要な器官である。
- (5) 嗅覚は、わずかな匂いでも感じるほど鋭敏で、かつ、同一臭気に対して疲労しにくい。

問 2 7 肝臓の機能に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 酸性の消化液である胆汁を分泌し、蛋白質を分解する。

- (2) 門脈血に含まれるブドウ糖をグリコーゲンに変えて蓄え、血液中のブドウ糖が不足すると、グリコーゲンをブドウ糖に分解して血液中に送り出す。
- (3) 血液凝固物質や血液凝固阻止物質を生成する。
- (4) 血液中の有害物質を無害の物質に変える。
- (5) アルブミンを生成する。

問28 神経系に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 中枢神経系には脳と脊髄が、末梢神経系には体性神経と自律神経がある。
- (2) 小脳を侵されると、運動失調を起こす。
- (3) 大脳皮質の運動性言語中枢に障害を受けた人は、声は出せても、まとまった言葉として話せなくなる。
- (4) 自律神経は、随意筋に分布して、生命維持に必要ないろいろな作用を無意識的、反射的に調節する。
- (5) 神経は、筋肉に比べて疲労しにくいのが、酸素の供給が乏しいと速やかに疲労する。

問29 尿に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 尿は、通常アルカリ性を呈する。
- (2) 慢性腎炎やネフローゼでは、その病態が重いほど尿中蛋白量が増加する。
- (3) 血糖値が正常であっても、体質的に腎臓から糖がもれて、尿糖が陽性となる場合を腎性糖尿という。
- (4) 腎臓や膀胱の腫瘍で、尿潜血が陽性となることがある。
- (5) 腎臓の機能が低下すると、血液中の尿素窒素が増加する。

問30 次のAからDまでの項目のうち、体力増強の程度の判定に直接関係ないものの組合せは(1)~(5)のうちどれか。

- A 最大酸素摂取量
- B エネルギー代謝率

C フリッカー値

D 肺活量

(1) A, B

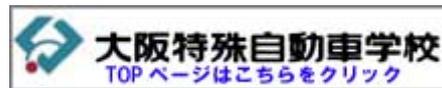
(2) A, D

(3) B, C

(4) B, D

(5) C, D

(終了)



Copyrights(C) All Rights Reserved. 禁無断複製、無断転載  
このホームページに掲載されている記事・写真・図表などの無断転載を禁じます。